

単元名	ーイタリアの伝統工芸品 クレモナのバイオリンのみりよくを伝えようー	8 時間
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統工芸品についての学習をもとに、自分たちが住んでいるイタリアの伝統工芸や伝統文化へも目を向けよう。(発展学習) イタリアの伝統工芸品であるクレモナのバイオリンについて知り、その魅力を伝えよう。 500年以上前に作られて、今も使い続けられているバイオリンという楽器に注目することで、その歴史と共に環境に優しく持続可能な未来につながる伝統工芸品の意義についても考えよう。 	
日本語の目標	<ul style="list-style-type: none"> クレモナのバイオリンという伝統工芸品について調べたり、社会見学で見たり聞いたりしたことをもとに、自分が注目するバイオリンの魅力を伝えるために、一人の職人になったつもりで、自分の言葉で文章にまとめて書いたり、それを、発表に適した言葉で聞いている人に伝わるように話したりすることができる。 	
学習課題	<ul style="list-style-type: none"> クレモナの社会見学で、実際の伝統工芸品バイオリンを見、その音色を聞き、また、工房でバイオリン職人さんからお話を聞くなどした後、伝統工芸楽器バイオリンの魅力を自分達からも発信する。 	
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> イタリアの伝統工芸や伝統文化へ目を向け、クレモナのバイオリンの魅力について学習することを知り、クレモナの町やバイオリンについての概要を学習した後、実際のバイオリンに触れたり弾いたりしてみる。 社会見学でバイオリン博物館や日本人のバイオリン職人さんの工房へ行くことを知り、その時、どのようなことを見たり聞いたりしてみたいかを考え、質問やインタビューをまとめる。(個人➡グループ) 社会見学で学習したことを各自で発表した後、自分達が伝えたいバイオリンの魅力について文章にまとめる モニター画面の写真や画像等と合わせながら、バイオリンの魅力をグループごとに発表する。(参観授業) 評価表をつけて発表を評価し合う。また、各自で学習の振り返りを行う。 社会見学、五感を使っの体験学習、総合学習、保護者参加型の学習、アクティブラーニング 	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 社会見学でメモしたことをもとに、見たこと聞いたことや得た情報が各自できちんとまとめられていたか。 グループでの話し合い活動や役割を決めての質問や発表がしっかりできていたか。 バイオリンの魅力を伝えるための文章が、初め・中・終わりで分かり易くまとめられていたか。 プレゼンテーション時には、正しく適切な日本語を使用し、モニター画面に映る画像などを上手く活用しながら伝えられていたか。また、他のグループの発表をよく聞き、つけた評価やコメントを共有し合えたか。 	

学習活動計画

時	内容	活動	ポイント
1	10/18 イタリアにおける未来につなぐ工芸品について考える 教師が作成したスライドをモニター画面で見ながら学習する	(めあて) イタリアの工芸品の中のクレモナのバイオリンについて詳しく学習していくこと、社会見学でクレモナのバイオリン博物館とバイオリン職人さんの工房見学に行くことを知り、学習への興味を持とう <ul style="list-style-type: none"> クレモナの場所、なぜ、クレモナがバイオリンづくりで有名な町になったのか、バイオリンの歴史、バイオリンの材料や構造などについての概要説明を聞く。 メモをとりながら説明を聞き、わからないことは質問する。 実際にバイオリンに触ったり弾いたりしてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 未来に繋がる日本の伝統工芸品を学習した後、イタリアの工芸品にも目を向けさせる。 以前学習したメモの取り方の学習を思い出し、メモをとる。 自分でも実際にバイオリンに触ったり弾いたりしてすることで、バイオリンについての興味や調べ学習に対する意欲をもたせる。
	家庭学習課題	<ul style="list-style-type: none"> 授業中、メモをとったことを自分なりにまとめ、クレモナのバイオリンについてもっと知りたいことや調べたいことを考え、ワークシート1に書いてくる。 	
2	10/25 クレモナの社会見学にむけての準備学習	(めあて) 社会見学にむけて、準備をしよう <ul style="list-style-type: none"> 各自が考え書いてきた、社会見学で「バイオリンについて知りたいことや質問したいこと」を発表する。 似たような質問をまとめる。 グループに分かれ、各グループで聞く質問を分担した後、グループ内で誰がどの質問をするか等の役割を決める。 正しく、適切で丁寧な言葉遣いで質問できるように、質問の仕方や話し方の練習をし、聞き合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が発表したことを、板書し、似たような質問をまとめる。 グループ活動での話し合いによる質問の共有や役割分担をすることで、社会見学での学習活動を意識させ、意欲をもたせる。 ワークシート2
	家庭学習課題	<ul style="list-style-type: none"> もっと知りたいことがあれば質問をつけ足し、自分が担当する質問の聞き方話し方等を練習する 	
3	11/1 クレモナ社会見学	(めあて) バイオリンの町クレモナへ社会見学に行って、色々学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> 説明してもらったり気づいたりしたことをメモをとりなが

		<ul style="list-style-type: none"> ・クレモナのバイオリン博物館見学 ・博物館内に展示してある有名な伝統的バイオリンを使ったミニコンサートを鑑賞（以上は、日本人ガイドさんによる説明つき） ・日本人のバイオリン職人さんの工房を見学し、バイオリン制作についてのお話を聞いたり質問したりする。 ・実際にバイオリンの裏板を削らせてもらう等の体験学習 	ら見学する。 ・聞いたお話や説明をメモする。また、その場で聞きたいことや考えてきた質問をし、その回答をメモする。 ・ワークシート3
	家庭学習課題	実際に見学したことや説明を聞いて知ったことや分かったこと、感じたことや思ったこと等を、自分のメモをもとに文にまとめてくる。	
4	11/8 社会見学で得た情報の共有と、自分たちが伝えたい魅力について考える	（めあて） クレモナの社会見学で各自が得た情報を共有し、自分たちが伝えたいバイオリンの魅力について考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・各自がまとめてきたことを発表し、全員で共有する。 （クレモナがバイオリン制作の中心地になった歴史や歴代の職人等、500年以上も壊れにくく長く使える、木材・にかわ・自然の材料を使っている、作り方や形の進化、音・共振、魂柱、弦、今までとこれからのバイオリン制作、聞く人の心を動かす魅力） ・共有したことをもとに、自分達が伝えたいバイオリンの魅力を考え、何に注目して発表するかを各グループで決める。 ・グループごとに、伝えたい魅力を箇条書きでまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が発表したことを板書してまとめることで、社会見学で得た情報を全員で共有する。 ・社会見学で得た情報の中で、児童が発表したこと以外にも重要なことがあれば、教師の方からヒントを出しながら思い出させる。 ・ワークシート4
	家庭学習課題	各グループで発表を担当することに決めた魅力の項目の中で、特に自分が伝えたいバイオリンの魅力について、文章にまとめてくる。	
5	11/15 参観日でバイオリンの魅力を伝えるプレゼンテーションをすることを知り、発表する文章やプレゼンテーションのための準備をする	（めあて） 工房見学のビデオを観、宿題で考えてきたバイオリンの魅力を伝える文章にさらに情報を付け加え、クレモナで撮ってきた写真の画像等も合わせたプレゼンテーションの仕方を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでまとめてきたことを発表する。 ・工房見学のときのビデオを観て、職人さんの説明を思い出し、つけ足したい情報をメモする。 ・自分たちが発表する内容に合わせ、クレモナの社会見学で教師が撮ってきた写真等を見ながら使う写真・画像を選ぶ。 ・小4の教科書 P58.59 の「初め」「中」「終わり」で書かれた例文や説明を参考にして、発表する文章を整えてくることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工房見学のビデオを観ることで、聞いた説明や体験したことを思い出させ、自分が書いてきたことに加えてさらに伝えたい情報はないかを確認させる。 ・写真は、教師の方で児童に提示し、発表の内容にできるだけ合ったものを、児童と一緒に選ぶようにする。 ・ワークシート5
	家庭学習課題	先週の宿題で書いてきた文章に、ビデオを観ながらメモをした中からつけ足したい情報を加え、教科書の例文を参考にしながら「初め・中・終わり」の形になるように文章を整え直してくる。	
6	11/22 バイオリンの魅力を伝えるプレゼンテーション文やクイズの準備後、モニター画面と合わせながら発表の練習をする	（めあて） 自分達で選んだ写真・画像のスライドに合わせながらプレゼンテーションの練習をし、保護者向けのクイズも考えて準備しよう <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で、発表する順番や役割を決める。 ・保護者へ出すバイオリンについてのクイズや三択の答えの言葉や文も考える。 ・グループごとに、モニター画面の画像と合わせてプレゼンテーションの練習やクイズを出す練習をし、改善点なども考える。 ・司会を決めて、リハーサルを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表する文章とモニターで映す写真・画像の合わせ方について児童と一緒に考えてアドバイスをする。 ・クイズも、モニター画面を使いながら出す。 ・クイズの答えは、三択制にする。 ・リハーサルでは、お互いのプレゼンを聞き合い、改善点などをみつけさせる。
	家庭学習課題	画像に合わせるイメージをしながら、プレゼンテーションの文章を読む練習や、伝わり易い発表ができるように、適切な言葉遣いで話し方の練習をしてくる。	
7	11/29 クレモナのバイオリンについてプレゼンテーションし、伝統工芸品の魅力を伝える	（めあて） 保護者の皆さんに伝わるように、クレモナのバイオリンの魅力を伝えるプレゼンテーションをしよう <ul style="list-style-type: none"> ・参観授業において、保護者の前でクレモナのバイオリンについて発表したり、クイズを出したりする。 （モニター画面で画像を見せながらのプレゼンテーションとクイズ） ・各グループでの発表後、質問があれば答える。 ・他のグループの発表を聞いた後に、観点別評価をつける。（評価表） ・保護者から自分たちの発表について感想を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの発表を保護者に聞いてもらうことで、バイオリンの魅力を伝えようとする児童の意欲を高める。 ・次回の発表学習に繋げるために、評価表をつけてお互いの発表を評価し合う。 ・評価コメントは、次の活動へ繋がられるようなアドバイスや前向きな書き方にさせる ・クイズに答えてもらった後、感想を聞いたりして保護者参加型の授業を行うことにより、保護者の補習校学習への支援意識も高められれば。（保護者は、クレモナ博物館の見学には参加したが、工房見学には参加していない）

	家庭学習課題	今までのクレモナのバイオリンについての学習や発表をふり返って、うまくできたところ、もう少し頑張った方が良かったところ、自分の感想などを作文にまとめる。	
8	12/6 今までの学習を振り返る	<p>(めあて) 「クレモナのバイオリンのみりよくを伝えよう」の学習について振り返り、この学習のまとめをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の発表の時に自分たちがつけた評価やコメントを伝え、皆で共有し合う。 ・各自が宿題でまとめてきた振り返りの作文を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがつけた評価やコメントを伝え合うことで、発表の良かったところや改善点に気づかせる。 ・自分の書いてきた振り返りの作文を皆の前で発表し全員で共有することで、クレモナのバイオリン学習のまとめとする。